

地域とともにある学校

魅力ある学校づくりを目指して

<校訓>

樹の如く伸びよ 星の如く輝け

<学校教育目標>

自律する人間 共創する人間 錬磨する人間

2018/12/18 (火) 発行

校長通信 NO23

北海道日高高等学校

町田英謙

平成30年の終了にあたり

まもなく平成30年も終了を迎えます。来年の5月には新しい元号となるため、「平成」としての年の暮れは最後となります。

今年は、例年のイベントに加え、10月に実施した「創立70周年の記念行事」や、「学校運営協議会」の設置もあり、大変忙しい1年でした。

1月から各研修会や入学者選抜業務など、まだまだ気持ちが休まる時は少ないかもしれませんが、先日の職員会議でも述べさせていただきましたが、教職員全員が元気に学校業務に邁進できたことが一番ではないかと思えます。

さて、機会ある毎に紹介していますが、今年は北海道が命名されてから150年目の節目の年です。振り返って様々な課題と向き合い、力を合わせて解決してきたことは、これからの教職員の皆様にとって掛け替えのない素晴らしい経験となったことは言うまでもありません。

年度末まで3ヶ月余り、様々な評価によって見つめ直し、次年度に繋げていく大切な時期となりましたので、「地域とともにある学校」づくりを基礎として、生徒達とともに教育活動に実践していきたいと思っておりますので、今後ともご協力をお願い致します。

<平成30年度 学校経営の目標>

「樹の如く伸びよ!」「星の如く輝け!」校訓のもと「自律する人間」「共創する人間」「錬磨する人間」の学校教育目標を柱に生徒達を教え育てていくことを各自しっかりと胸に刻み、ご活躍を期待しています。

校長協会（全国の動向）の情報提供

1 文科省担当の方からの説明

(1) 「高校生のための学びの基礎診断」

☆各学校の実情等を踏まえ、適切な測定ツールを必要に応じて組み合わせながら選択・活用していくもの。申請のあった測定ツールを審査し、今年10～11月ごろに認定後、詳細な情報を提供し、31年度から実施する。活用の在り方は都道府県教育委員会、各学校の判断による。

(2) 「大学入学共通テスト」

☆29年度「英語教育改善のための英語力調査」で、CEFRのA2レベル以上の割合が、4技能とも目標とする5割に達していない。特に、聞くこと、読むことに比べ、話すことや書くことは低い。

☆32年度から、所得が低い家庭の子供たちを対象に、高等教育の無償化を実現する。授業料の減免措置の拡充と併せ、給付型奨学金の支給額を増やすことを検討している。

☆調査書の電子化について、検討を進めている。

2 大学入試センター担当からの説明

☆試行調査は前年度では修正がきかないので、通常は実施の2年前に行うこととしている。問題は正答率50%で作成し、大学での運営を含めて検証する。日本スポーツ振興センターのほか、大学入試センターでも保険会社と保険契約を締結する予定である。

☆6月18日に示したのは、新しく正確な情報を提供するため、現時点のものである。記述式で、過年度生については、特に配慮した対応は考えていない。

☆英語の資格・検定の活用について、個人を特定する共通IDが必要である。高校2年生の半ばに高校が生徒の希望を取りまとめ申請する。大学によってはA0・推薦入試での活用を考えていることから、生徒が1回目を7月までに受検し、大学に8月下旬か9月上旬ごろ成績を提供する。大学への成績の提供については、年3回を考えている。

3 情勢報告

☆第3次教育振興基本計画が6月15日に閣議決定され、今後、各自治体で策定することになる。

☆東京23区の大学定員増を抑制する地方大学振興法が決定し、今後10年間は定員増が認められない。

☆民法の成年年齢の引き下げに関わり、今後、消費者教育が重要性になってくる。法令の「未成年者」の文言は、「20歳未満の者」と改めるとしている。

☆6月5日「Society5.0に向けた人材育成～社会が変わる、学びが変わる～」が公表された。教育施策の方向性として、公正に個別最適化された学びの実現、基礎的読解力・数理的思考力や情報活用能力の習得、文理分断から脱却し両方を学習することなどを挙げている。

4 協議

☆英語の資格・検定の活用 → 情報が不足しているほか、実施会場の拡充、価格の低廉化、実施時期による教育活動への影響、公平・公正な監督・採点等、様々な課題があることから、全高長で意見や要望を取りまとめ、国に提出していく。

☆働き方改革 → 学校閉庁日は本年度から実施や試行している都府県が多い。勤務時間について、カード導入もあるが、多くはExcelを使用し、教頭が月ごとに集計し報告している。都府県によっては、時間外勤務が月80、100時間を超える場合は、管理職や産業医から指導・助言をしている。 <都道府県高等学校長協会研究協議会のまとめ>

第2回学校運営協議会

12月6日(木)19:00から日高町民センター集会所において、第2回学校運営協議会(CS)が開催されました。委員長の山田喜代一様をはじめ、19名、日高町教育委員会から3名、視察で日高教育局社会教育主査の伊藤睦郎様にご参加いただき開催されました。

今回は、学校経営状況、生徒募集、学校評価、地域交流事業等について説明させていただき、意見交換や質問要望を受け、充実した時間となりました。

スキ一部全道壮行会

12月13日(木)4校時、スキ一部の高体連全道大会の総会が開催されました。3名の部員から決意表明があり、昨年度は、GS競技で本校では6年振りに全国大会の出場を果たしましたが、今年度も全国大会出場を目標に調整を図り、選手の皆さんが大会当日に全力を出し切れるよう、ご活躍を祈念します。

2学期の成績会議について

12月12日(水)に、2学期末の成績会議をおこないました。中間考査、期末考査の成績をもとに普段の授業での発表や参加態度、提出物等を観点別に評価したものです。冬季休業明けには、学年末の卒業認定、進級認定に向け、授業や試験がありますが、日々の積み重ねが大切ですので、ご指導の程、よろしくお願い致します。

編集後記

今年一年、大変ご苦勞様でした。年末年始も忙しいと思いますが、休業期間でリフレッシュしてください。

『良い年をお迎えください。』